

れんぎ
認定特定非営利活動法人 日本雲南聯誼協会【東京本部】〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町21-13 1階
Tel: 03-5206-5260 Fax: 03-5206-5261
E-mail: yunnan@jyfa.org URL: http://www.jyfa.org/【昆明代表処】中国雲南省昆明市人民東路289 号集大広場2011室
Tel. +86-871-63311468 Fax. +86-871-63320658

f http://www.facebook.com/NPO.JYFA @jyfa

ブログ 雲南の郵便屋さん

検索

編集・発行人 初鹿野 恵蘭

印刷協力 昭和情報プロセス(株) (株)技術評論社 / デザイン Hope Company

Japan Yunnan
Friendship Association

彩雲の南

第87号

会
報

発行日 2024年（令和6年）11月15日

50の小学校
プロジェクトベトナム国境 雲南省紅河州
河口瑶族自治県の小学校3校支援
(株)ナンセイスチール様による支援が決定！

このプロジェクトは協会発足時から続く事業として、これまでに25校の小学校建設等の支援を行ってきました。今回は2024年7月、雲南省紅河州河口瑶族自治県（以下、河口県と略す）の小学校を、当県教育委員会の要請を受け、初鹿野理事長、林理事、現地スタッフが視察に行きました。その経緯や現地の状況、今後の支援プロジェクトについてご紹介致します。



龍堡小学校 校門



河口県教育委員会との支援会議



老朽化が著しい宿舎を視察



生徒の家庭訪問 温かいおもてなしを受けました

河口県の概要と現地視察の経緯

河口県は雲南省の南西国境に位置し、昆明市から約400km、河を隔ててベトナムと接しています。面積は約1,300km²、総人口は9.75万人で、雲南省で唯一ヤオ族の自治県で、独自の文化や歴史を有しています。亜熱帯気候のため温暖で、湿度が高い地域です。農村部では、義務教育課程の学校は1950年代から80年代にかけて建設され、現在老朽化による問題が非常に深刻です。

協会は、これまで「50の小学校プロジェ

たことから、当県教育委員会より、深刻な状況にある小学校3校（河口県南溪鎮龍堡小学校、河口県南溪鎮螞蝗堡小学校、河口県瑶山郷中心小学校）の学校設備への支援と、8名の貧困児童への支援の依頼を受け、現地を視察する運びとなりました。今回の視察では、小学校2校（河口県南溪鎮龍堡小学校・河口県南溪鎮螞蝗堡小学校）と、その小学校に通う生徒の自宅を訪問しました。その中で、校舎や学生寮、生徒への教育や生活、村の暮らしの実情を知ることができました。

教育資源の困難と問題

まず、教育現場の状況について、南溪鎮龍堡小学校の例をご紹介します。40年以上前に建てられた校舎をそのまま学生寮として利用しており、一つの教室に約30人の生徒が暮らしています。室内にはカーテンもなく、机を置くスペースもありません。布団も非常に薄く、冬場は寒さが厳しいです。

また、寮にはトイレもないため、わざわざ外のトイレに行く必要がある上、男女一人



龍堡小学校の宿舎を視察～隙間なく並ぶ古びたベッド

ずつしか利用できません。しかも、そのトイレは水洗式でなく、衛生環境が悪い状態にあります。加えて、給湯器もないため、寒い冬でも温かいお湯が利用できません。食堂も狭いため140人の在校生の内、50人ほどしか同時に利用できず、そのほかの生徒は外で食事をとらざるを得ない状態にあります。また運動場の地面も平坦ではないので雨水が溜まりやすく、生徒たちはのびのびと運動もできません。

さらに校舎は老朽化による雨漏りがひどく、浸水、床の沈下、建物の腐食、壁の崩落等、危険性も高いです。生徒たちが安心・

安全に学校生活を送ることができる環境の構築を、学校や子ども達は切実に願っています。

3つの小学校のニーズ

3つの小学校からニーズとして上がっているのは以下の通りで、こうした現地のニーズに対し、急速な支援が必要です。南溪鎮龍堡小学校：①サッカー場の改築、②音響と照明設備の購入、③食堂のダイニングテーブルと椅子の購入、④トイレの改善、⑤雨よけの建設。河口県南溪鎮螞蝗堡小学校：①多目的室の改善、②給水機の設置、③寝具の設備。河口県瑶山郷中心小学：①湯沸かし器の設置、②制服の統一、③給湯器の設置です。

温かいご寄付と新プロジェクト起動

協会が10月15日に開催した、第19回チャリティーゴルフコンペにおいて、3つ小学校の運動場整備や給湯器、寝具の購入、生徒たちの制服の購入等への御寄付を募りました。協会の稲福誠顧問が代表取締役会長をつとめ、劉国利顧問が取締役社長をつとめる株式会社ナンセイスチール様から1,200万円の多大なるご寄付を賜りました。そして、参加者の皆様から大変温かいご寄付を賜りました。子ども達に代わりまして、心より深く感謝申し上げます。協会は現地政府や、協会の活動を応援して下さいの皆様と連携し、この新支援プロジェクトを進めて参ります。プロジェクトが完成した際には、ぜひ一緒に小学校を訪問しましょう。



劉国利 顧問

稲福誠 顧問

二面、視察記へ続く➡



視察小学校は、いずれも山奥にあり、バナナ栽培が盛んな地域

クト（小学校校舎、教育施設の建設支援事業）」等、雲南省の教育支援活動を行ってい



① 龍堡小学校 生徒宿舎



② 龍堡小学校 生徒の食堂

③ 龍堡小学校 トイレ



④ 螞蝗堡小学校 校門

⑤ 螞蝗堡小学校 トイレ

⑥ 螞蝗堡小学校 生徒の食堂



⑦ 螞蝗堡小学校 校舎のあちこちで修繕が必要です

⑧ 螞蝗堡小学校 生徒の手洗い場



チャイナフェスティバル 2024

中華人民共和国
成立75周年記念

9月7日(土)と8日(日)の2日間にわたり代々木公園 イベント広場(東京都渋谷区)にて開催された「チャイナフェスティバル 2024」に今年も協会が出展しました。

今年には福田康夫元内閣総理大臣を最高顧問、呉江浩大使を実行委員長に、青少年交流、地方都市交流をはじめ、経済交流、中国四千年の味覚「四大料理」「四大銘酒」の紹介、そして中国出身アーティストのメインステージなど、中国の魅力を身近に体験できる場として開催されました。残暑厳しい中、

チャイナフェスティバルとは?——チャイナフェスティバルは、日本にいながらにして中国の文化を体験できる、大規模なイベントで、日本と中国の人々の友好を深め、相互理解を促進することを目的として毎年秋に開催され、多様な中国の魅力を発信しています。中国の伝統芸能や現代音楽のパフォーマンス、中国文化が体験できるワークショップ、中国の工芸品や雑貨、本場の中国料理やスイーツが味わえるなど五感で中国を体感できます。

主催：中華人民共和国駐日本国大使館 / チャイナフェスティバル 2024 実行委員会
支援：一般財団法人日本アジア共同体文化協力機構
後援：外務省、在日中国企業協会、中国駐東京観光代表処、中国文化センター、一般社団法人全日本華僑華人団体連合会、日本華僑華人連合総会、一般社団法人東京華僑総会、一般財団法人日本中国文化交流協会、日中友好議員連盟、一般社団法人日中協会、公益財団法人日中友好会館、公益社団法人日本中国友好協会、公益社団法人日本中国友好協会、認定 NPO 法人東京都日本中国友好協会
出店：147 ブース 来場者数：180,000 人（主催者発表）

認定 NPO 法人日本雲南聯誼協会ボランティア（順不同、敬称略）
東曉洲、呉婧嫻、彭浩銘、肖一凡、李卓陽、付瀨聖修、常秋霖、祁開心、日下部一心、崔成超、譚雅文、王狄、馮佳芸、松村裕介、内田佳澄、曹紅、湯軒墨、王佳靜（東京本部インターン生）、熊寛（東京本部インターン生）、寺内明子大宮支部長、菊池宏充（『彩雲の南』ボランティア編集長）、蔣咏

りました。また、両国の人々がお互いに交流し、理解を深めるプラットフォーム創りを行っていくことの重要性を再認識する機会となりました。

協会は、雲南省少数民族の子どもたちへ

の教育支援をはじめ、雲南の物語を語り、日中友好の希望と情熱を社会に伝える活動をこれからも行っていきます。また来年、皆様と会場でお会いできるのを楽しみにしています。

雲南の多彩な文化にふれられる

今回の「日本雲南聯誼協会 × 日本雲南総商會」のブースでは、昨年度と同様、協会活動や雲南、少数民族を紹介するパネルや大型モニターを使った映像の放映、雲南の特産品や少数民族ハンドクラフトの展示・チャリティー販売を行い、民族衣装を着たボランティアの皆さんと、ブースを盛り上げました。雲南の高原野菜やプーアル茶、雲南のスペシャルティコーヒー（COFFEE: PURE PEAKS）の試飲・販売、民族衣装のチャリティー試着体験を実施。雲南ならではの魅力・文化体験を楽しんでいただきました。



呉江浩大使もお見えになりました

日本雲南聯誼協会ブース



初日には当フェス実行委員長の呉江浩大使が協会ブースにお見えになり、協会活動への励ましの言葉をいただきました。また中国のメディアも取材に訪れました。

雲南少数民族の支援につながるスペシャル



若いボランティアが大活躍

李卓陽さん (OLJランゲージアカデミー留学生)

僕は日本雲南聯誼協会の一員として、雲南省の文化を日本の皆さんに紹介する役割を担いました。伝統的な民族衣装の試着体験をはじめ、雲南スペシャルティコーヒーやプーアル茶、アクセサリーのチャリティー販売を通して、雲南省の魅力を発信しました。

日本語と英語を使って故郷・雲南の民族や風俗について多くの人に知ってもらえたので、大変嬉しかったです。

このイベントは、中日文化の友好交流を実感する貴重な場となりました。日本の参加者の方々が熱心に私たちのブースに立ち寄り、

興味深く話を聞いてくれる姿を見て、中日両国の人々が相互に理解し合う素晴らしい機会だと感じました。文化を通じて人と人がつながる力を改めて実感することができ、ボランティアとしての参加に大きなやりがいを感じました。

このような素晴らしい機会を提供してくださった日本雲南聯誼協会の皆さまに、感謝の気持ちを伝えたいです。チャイナフェスティバルを通じて得た経験は、私にとって非常に貴重なものです。今後もこのようなイベントに積極的に参加し、より多くの人々に雲南の魅力を伝えていきたいです。お世話になった皆さまに感謝申し上げます。

ティコーヒーの販売は大好評で完売となり、民族衣装のチャリティー試着体験も大人気で、若い女性やお子さんばかりでなく、男子大学生にも好評でした。民族衣装を着て、チャイナフェスティバル会場内を練り歩き、皆さ

んの目を引き付けていました。その様子から皆さんの雲南への関心度の高さが伺えました。

協会ブースにお越しいただき、チャリティーにご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。

チャイナフェスティバル snapshot



青が鮮やかな苗族の衣装



男子大学生にも大人気の民族衣装試着



取材の多さから雲南への注目度が伺えます



若いボランティアが盛り上げてくれました

視察エピソード

◀気温 40 度以上の酷暑の河口県▶

今回の視察で初鹿野理事長一行が訪れた河口県は昆明から高速鉄道で往復 10 時間もかかり、ベトナムと国境を接する町です。この時期の河口県の気温は 40 度以上にもなり、湿度も高くサウナの中に入っているような暑さでした。そのため労働者は涼しい早朝から仕事を始め、気温が高くなる昼間は休み、また午後涼しくなってから仕事をするという習慣があります。初鹿野理事長ら視察団は当初は 3 校の小学校を視察する予定でしたが、学校の先生方や政府関係者も昼間は休憩しているため時間が足りず、今回は 2 校の視察となったのです。

◀皆さんの温かいおもてなしに感謝▶

一面より続く

視察団一行は現地の主任のご厚意で自宅にご招待いただき、ベトナム風の野菜中心の料理をご馳走になりました。家の中には調理スペースはなく、数軒の家が外にある共同の調理スペースで料理して、主任の 90 歳を超えるお母さんを含めてみんなで外で食事したのですが、素朴なもてなしの中に温かさ人間味を感じ感動したそうです。

今回の視察を終えて初鹿野理事長は 20 年以上前の小学校視察のことを思い出したそうです。当時は雲南の田舎はインフラが整っておらず道なき道を視察に行ったそうですが、今は

交通網が発達し高速鉄道も発達していますが、視察の大変さは変わりませんが、実際に現地に赴いて目で現状を確認することの大切さを改めて感じました。

また河口県にある中国とベトナムの国境線を案内していただいたそうですが、すぐそこはベトナムなのに線 1 本で国が隔てられていて、非常に近いのに遠い存在で不思議な感じがしたそうです。

◀雲南固有の雲南バナナ ▶自家製のお酒



▲南国を感じさせるヤシの実

支援が必要な生徒 8 名

河口県には、留守児童や新住民の子供が暮らし、経済的に厳しい家庭もあります。特に経済的に生活が厳しい子ども達 8 名への支援の要請を受けました。

例えば、楊周敏さん(彝族)は、父子家庭で幼い弟と、高齢の祖父と共に生活しています。家計は父親の非正規労働と作物栽培に依存しています。楊浩博(苗族)さんは、母子家庭で、母親はバナナの栽培を行うも赤字で、出稼ぎへ行っており、高齢の祖父母と暮らしています。家計は母親の収入に依存しています。

こうした家庭の状況を踏まえて、まずは経済的な支援を行いたいと考えております。また、子ども達は自分の所属するコミュニティ以外の人たちと関わる機会が非常に少ない状況にあります。そこで、このような経済的支援に加え交流事業なども行い、子供達の将来への視野や夢を広げるサポートをしてまいります。

中国大使館 友好交流会



様々な国の代表が招かれました

「チャイナフェスティバル 2024」が終了した翌日の9月9日、中国大使館から当フェスティバルに出展した団体が招待され、友好交流会が開催されました。

協会からは蘇鑫昆明代表処首席代表、蔣咏、当会報誌『彩雲の南』ボランティア編集長の菊池宏充さんが招待を受け、出席しました。

中華人民共和国駐日本国特命全権大使の



呉江浩大使



小松道彦顧問

呉江浩大使をはじめ、チャイナフェスティバル 2024 実行委員会事務総長の青柳陽一郎衆議院議員、チャイナフェスティバル 2024 最高顧問福田康夫元内閣総理大臣の代理の一般財団法人日本アジア共同体文化

協力機構理事で協会の小松道彦顧問が挨拶し、当フェスティバルの成功を共に喜びました。舞台演出が披露され、食事を楽しみながらの交流が執り行われました。

中華人民共和国成立75周年記念レセプション

東京・福岡



東京でのレセプション 中央 中華人民共和国駐日本国大使館 呉 江浩 特命全権大使

中華人民共和国建国成立 75 周年を祝い、日本各地の中国大使館にてレセプションが行われました。9月26日には中華人民共和国駐日本国大使館主催のレセプションがホテルニューオータニ（東京都千代田区）で開催され、今年も初鹿野恵蘭理事長、蘇鑫昆明代表処首席代表、そして協会ボランティア7名が招待を受け、雲南少数民族の衣裳を着て出席しました。また、翌日27日の

ホテルニューオータニ博多（福岡市）で開催された中華人民共和国駐福岡総領事館主催のレセプションにもご招待を受け、初鹿野理事長が出席しました。

毎年レセプションには政財界、文化界、在日華僑華人、日中友好団体や留学生の代表者らが招待され、今年は東京で約1600名、



左から3人目より 中華人民共和国駐日本国大使館 陳巍 公使参事官兼総領事、王宝鋒一等書記官兼領事



福岡でのレセプション

左より写真家 馮学敏、初鹿野理事長、中華人民共和国駐福岡総領事館 楊慶東 総領事、九州華僑華人連合会 奥薩卓馬 会長

福岡で約450名が出席し、祝賀ムードを盛り上げる演奏や展示のコンテンツが用意され、華やかな雰囲気の中、出席者は友好を深めました。

東京でのレセプションに参加した7名の



ボランティアと初鹿野理事長、蘇鑫昆明代表処首席代表は雲南少数民族のイ族や苗族等の色鮮やかな民族衣装を身にまとい参加しました。一緒に写真を撮ってほしいとリクエストが多く、雲南少数民族に興味を持っている方がたくさんいらっしゃいました。

会場のホテルニューオータニは協会事務所がある市ヶ谷の隣の駅にあるため、皆さんは事務所から民族衣装を着て会場に向かいました。道中、皆さんの目をひき、とても目立っていました。

アジア未来への人材育成プロジェクト



王佳静さん

公益信託アジア・コミュニティ・トラスト インターン助成金プログラム 王佳静さん

9月初めから10月末まで東京本部のインターンに参加した王佳静さんは、青山学院大学大学院修士課程で「中国の貧困地域に対する非営利団体（NPO）の教育支援に関する研究」をテーマに研究しています。彼女の研究テーマと協会の活動がマッチしたため、公益信託アジア・コミュニティ・トラ

スト（ACT）のインターン助成金プログラムを通じ東京本部インターンに参加しました。ACTのインターンプログラムは、アジアの開発途上国から日本に留学している学生が日本のNPO・NGOでインターンシップに参加し、社会貢献活動に携わることを支援するプログラムです。アジアの学生に日本の

社会や文化を理解する機会を提供し、国際的な視野を広げる活動を支援しています。

9月と10月は協会のイベントが続き、王佳静さんにも準備から運営、片付けまで手伝ってもらい、国際協力NPOの実務を体験してもらいました。志が高い学生が協会で経験を積み、世界で活躍する人材へ育つことを願い、今後も若者のインターンを受け入れていきます。

次号ではインターン参加について王佳静さんの感想文を紹介します。

協会ボランティア通信 連載 第25回

束驍洲さん

共に学び、共に成長！
～次世代を担う若いボランティアたち～



束驍洲さん

協会は今年4月15日、公益財団法人日中友好会館のFood Salon 錦鯉（東京都文京区）にて、在中の日本人映画監督・竹内亮氏の『劇場版 再会 長江』公開を記念し、本作品のうち雲南省を舞台にしたネット版エピソードを上映する鑑賞交流会を盛大に開催しました（詳しくはこちらをご覧ください：<https://jyfa.org/saikai-choko-event/>）。当日のボランティアリーダーとして精力的に活動して下さった束驍洲さんより、鑑賞交流会に参加した感想をお寄せいただきました。

◎協会では随時ボランティアを募集しています

100名を超えるボランティアの皆様が日々緑の下で力持ちとして活動しています。国際協力、教育支援に関心のある方、雲南省が大好きな方。あなたのほんの少しの空いた時間と力を、当協会の活動のために分けていただけませんか？

協会ボランティアについて：<https://jyfa.org/causes/volunteer/>
協会ボランティアのお申込みはこちら：<https://jyfa.org/volunteer/>
お問い合わせはこちら：<https://jyfa.org/contact/>

ボランティアとして『劇場版 再会 長江』特別鑑賞交流会に参加し、本作品で描かれる長江沿岸の壮大な景色と、素朴な人々の生活に深く心を打たれました。この映画は自然の偉大さを描くだけでなく、沿岸地域の人々の生活様式や、彼らが自然に対して抱く敬意と愛情を生き生きと表現していたからです。

当日は竹内亮監督と、雲南省から来日していた本エピソードの主人公・ツムさんから直接話を聞くことができ、撮影の裏話や作品に込められた思いに触れることができました。彼らの情熱と長江文化への深い理解に触れ、私はさらに雲南という土地に関

心を持つようになりました。また、当日来場していた日本、中国の観客との交流を通じて、文化交流の重要性も改めて感じました。

ボランティアとして今回のイベントに参加することで、日中間文化交流の意義を再認識しました。この活動を通じて、両国民の相互理解が深まり、今後の交流と協力の基盤が築かれたと感じています。このような素晴らしい文化交流イベントに貢献できたことを非常に光栄に思い、今後も同様の活動に積極的に参加したいと考えています。

（束驍洲）

イベント報告

第24回定時総会開催

第24回定時総会が6月15日、株式会社技術評論社様の5階会議室で開かれ、議案は全て原案どおり承認されました。

議長：遠藤功副理事長、司会進行：中村有里子理事

第1号議案 令和5年度事業経過報告について

第2号議案 令和5年度会計収支決算報告・会計監査報告について

第3号議案 令和6年度事業計画案審議について

第4号議案 令和6年度会計収支予算案審議について

第5号議案 任期満了に伴う理事及び監事改選について

ご出席いただいた皆様、委任状または書面議決書をご提出いただきました皆様、ありがとうございました。

年度を通じて頂戴いたしました会員皆様方の力強いご支援に、この場をお借りしまして改めて御礼申し上げます。今後も日本と雲南の友好親善を深めるため、会員の皆様のご理解とご協力のもと様々な活動を展開してまいりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

イベント報告

令和5年度第2回理事会開催

令和5年度第2回理事会が9月4日、株式会社技術評論社様3階会議室で開かれました。今回の議案は「25の小さな夢基金と新規支援事業」、令和6年度後半のイベント・プロジェクトで全て原案通り承認されました。参加された役員の皆様、ありがとうございました。



お知らせ

ありがとうございました！

雲南少数民族の伝統と心のこもったご寄付

雲南省プーアルご出身の楊麗娟さんより少数民族の民族衣装ご寄付のお問い合わせをいただき、7月3日の暑い中、たくさんの雲南少数民族の衣装やテキスタイルを協会事務所に持参いただきました。

今回ご寄付頂いたのは、日本で暮らす楊さんのもとにプーアルに住むお母様が長年少しずつ送られてこられた、思い出深い少数民族ハンドメイドの物です。雲南に帰国するため、協会の活動に役立てて欲しいということで寄付して頂きました。

楊麗娟さん、すばらしいご寄付をありがとうございました。今後は各種イベントやSNS等でご紹介していき、皆様にご覧いただきたいと思います。



イベント報告

日中友好と青少年交流の促進へ

第1回YTK CUP「日中友好青少年バドミントン大会」協賛

とを目的に、埼玉をはじめ首都圏近辺から320名の小学生が参加しました。

大会は男子団体、女子団体、混合団体、エンジョイ団体の4方式で実施。シングルスでは、参加者が技術の高低を問わず全力を尽くし、団結力を発揮しました。ダブルスでは、選手たちが息の合ったプレーを見せ、見事なコーディネーションで観客を魅了しました。

この大会は、参加者のチームワークと友情を象徴する場となり、日中青少年の交流とスポーツを通じた国際交流に大きく貢献しました。YTK スポーツは、次回の大会に向けてさらに準備を進め、来年は東京、神奈川、千葉、埼玉で開催し、大学生、高校生、小学生を招待し、より多くの選手にご参加いただけるイベントを計画しています。

YTK Sports 潘睿



お知らせ

当会報誌『彩雲の南』を郵送でお受け取り頂いている皆様へ

第85号会報発送時に配布させて頂いた会報発送に関するアンケート調査の結果を踏まえ、環境保護と経費削減のため、協会公式HPの「ライブラリー」でご覧頂ける方は、今後、会報誌の発送を停止させて頂くことになりました。

会報を発行した際には、メールでのご連絡と共に、協会HPページやブログ「雲南の郵便屋さん」にてお知らせ致します。

協会公式HPの「ライブラリー」

https://jyfa.org/publications/saiun/



経費節減分はさらなる教育・文化支援活動に使わせて頂きたいと考えておりますので、ご協力頂ける方は下記までご連絡をお願い致します。

1. メールで連絡

メール件名「会報送付不要」、メール本文「①氏名、②4桁の会員番号(ご不明な場合は不要)」をお書き頂き yunnan@jyfa.org までお願いします。

2. Googleフォームで連絡

こちらから 

なお、引き続き会報誌の郵送をご希望の方は連絡を頂く必要ございません。皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願い致します。

イベント報告

グローバルフェスタ JAPAN2024 出展

9月28日(土)と29日(日)、新宿住友ビル三角広場(東京都新宿区)で開催された「グローバルフェスタJAPAN2024」に今年も出展しました。

当イベントは、世界各地で活躍しているNPO・NGO、大使館、国際機関、教育機関、企業等 SDGs などに取り組む団体が一堂に会する日本最大級の国際協力イベントです。

1954年に日本が政府開発援助(ODA)を開始してから70年の節目の年を迎えた今回のテーマは「国際協力70年、ともに未来へ」。約200団体のブース展示や多彩なゲストが登壇するステージプログラム、体験ワークショップ、世界の食事が楽しめる飲食・物販ブース等、国際協力に対する理解を深める機会となりました。来場者数は2日間の合計で約4.9万人(主催者発表)でした。

協会は写真パネルで日々の活動を紹介したり、雲南少数民族の民族衣装やハンドクラフトを展示しました。国際協力に興味がある学生が多く訪れ、「雲南の教育状況を初めて知ることができ勉強になりました」「雲南の少数民族に興味があるので、ぜひボランティアに参加したい」との感想がありました。

ボランティア：川口邦夫、王佳静(順不同、敬称略)



王佳静さん(左)と川口邦夫さん

イベント情報

第21回 チャリティー忘年会

日時：2024年12月25日(水)
18:30～20:30

場所：ホテルグランドヒル市ヶ谷 東館3階「瑠璃」

参加費：一般10,000円、学生9,000円

主催：認定NPO法人日本雲南聯誼協会

定員：100名 先着順

お申し込み：東京本部事務局またはチャリティー忘年会QRコードよりお願いします

日本雲南聯誼協会 設立25周年記念式典

日時：2025年6月予定

場所：未定

※詳細が決まりましたらHP等でお知らせします

協会イベントに関するお問い合わせ

東京本部事務局

TEL.03-5206-5260 (平日10～17時)

✉ yunnan@jyfa.org

お知らせ

第21回 チャリティー忘年会

日本と雲南少数民族友好の夕べ

2024年も皆様の温かいご支援のおかげで、日本と雲南で多くの活動を着実に進めることができました。当忘年会は、日頃の感謝を込めて皆様と楽しいひとときを過ごすとともに、今後の活動資金を募る大切な機会です。美味しい料理を味わいながら伝統芸能に触れ、雲南の子どもたちの未来のために共に力を合わせましょう。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

雲南や少数民族に興味のある方、ボランティア活動に興味のある方、どなたでも参加いただけます。

日時：2024年12月25日(水曜日) 18:30～20:30

場所：ホテルグランドヒル市ヶ谷 東館3階「瑠璃」
(東京都新宿区市谷本村町4-1 各線市ヶ谷駅より徒歩3分)

会費：10,000円(予定) 雲南の子どもたちのために会場で寄付を募ります

皆様のご参加を心よりお待ちしております！

お問い合わせ

東京本部事務局

TEL.03-5206-5260 (平日10～18時)

✉ yunnan@jyfa.org



IDEAS

「彩雲の南」へのご意見・ご要望をお待ちしています

日頃から『彩雲の南』をご拝読いただき、ありがとうございます。『彩雲の南』をより一層楽しんでいただけるよう、ご意見・ご提案を募集しています。どうぞお気軽にお寄せください。

〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町21-13 1階

認定NPO法人日本雲南聯誼協会

東京本部事務局

✉ yunnan@jyfa.org

までお気軽にお寄せください。

編集後記

8月に行われた「チャイナフェスティバル」は盛大のうちに幕を閉じました。中国大使館がブース設置してビザの受付をしたり、中国の有名アーティストがライブをしたりと、今年の祭典は過去にも増して話題を集めたこともあり、2日間でなんと18万人も来場したそうです。当日私も現地で雲南コーヒの試飲提供をしていましたが、その熱気はすさまじく、日中友好の高まりをひしひしと感じました。この熱気をひと時のものに終わらせたくない—その思いを胸に協会としてやれることを積極的に推し進めていきたいと思っています。(編集長・菊池宏充)

お知らせ

2024年度会費に関するお知らせとご寄付のお願い

正会員・法人会員・賛助会費の皆様へ

皆様からの会費とご寄付によって協会は一層活気あふれる活動を続けることができます。ご納入がまだの場合、お早めにご納入いただけますようお願い申し上げます。すでにご納入いただきました皆様にはこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

教育支援活動へのご寄付は、随時お受けしております。皆様の温かいご寄付を心よりお願い申し上げます。

※住所や電話番号の変更などがありましたら、事務局までご連絡ください。

新規会員ご紹介

(2024年8月～10月ご入会順、敬称略)

協会に新たな仲間が加わりました。

正会員

袁吉璋

計1名

賛助会員

杉浦幸夫

計1名

会費・ご寄付振込先

①銀行振込

三菱UFJ銀行 目黒駅前支店 普通 1300380

特定非営利活動法人 日本雲南聯誼協会

(トクイエイカツト カカダシニョッ ソカナルンギ キョウカイ)

②郵便振替

振替口座 00100-8-610935

加入者名 特定非営利活動法人 日本雲南聯誼協会

※振込手数料はご負担いただきますようお願いいたします。

※お問い合わせと住所・電話番号等の変更は東京本部事務局まで

電話 03-5206-5260 (平日10-17時)

FAX 03-5206-5260 (24時間受付)

メール: yunnan@jyfa.org